

# 国語科学習指導案

1 単元名 友達に日本文化のよさが伝わるように、「日本文化を発信するパンフレット」を作ろう

—「日本文化を発信しよう」 光村図書 6年「創造」—

## 2 単元観

本単元は、前単元「『鳥獣戯画』を読む」で読み取った表現の工夫を活用して解説文を書き、パンフレットを作る単元である。本単元において、児童は、「日本文化のよさ」を友達に伝えるパンフレットをグループで作る。児童は、パンフレットを作るために学校図書館等を活用して調べて情報を集め、そこから必要な情報を選び、どのような表現をすれば自分の伝えたいことが相手に伝わるかを考える。パンフレットは複数の情報を組み合わせて編集し、作られるものである。自分の一番伝えたいことが相手に伝わりやすいように、複数の情報を組み合わせて作っていくことになる。

「日本文化のよさ」を友達に伝えるパンフレットを、グループで作ることで、友達の書いた文章と自分がこれから書く文章とのつながりを考えることが必要になる。そして、児童はパンフレット全体の構成や自分の書く解説文の構成を考えながら、パンフレットを作っていくことになる。本単元は、これらの活動を通して、児童に、全体の構成を工夫して文章を書く力を育成する単元とする。

## 3 指導方針

- ・意欲的に活動に取り組み、粘り強く活動し続けられるために、単元の追究する過程に、ひとまとまりの活動を設定する。
- ・ワークシートを用いて活動を可視化することで、自己の学習の進捗を確認できるようにする。
- ・学習の質的な高まりを振り返ることができるように、単元で身に付ける資質・能力を、振り返りの視点としてもたせる。
- ・活動のゴールと活動計画に沿って振り返らせることで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。
- ・パンフレット全体の構成を考える視点をもたせるために、ひとまとまりの活動の間に、グループで構成を見直す時間を設定する。
- ・パンフレットの方向性を確認するために、グループで共有する時間を毎時間設ける。
- ・友達のページや解説文と、自分が書いた解説文のつながりを考え、確認しながらパンフレットを作成できるように、書いているページを常に共有できるようにする。
- ・解説文やページの構成を見直す際は、パンフレット全体の構成から自分の解説文やページの構成を考え見直させる。
- ・学習で使うワークシートや資料は、ドライブで共有し、いつでも参考にできるようにする。

## 4 研究との関わり

群馬県教育委員会が作成した「はばたく群馬の指導プランⅡ」（令和元年8月）では、主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくることの必要性を示している。「めあて」に沿った「振り返り」をする場面を設定することが、様々な学習場面で活用できる資質・能力の育成につながるとともに、その「振り返り」によって自覚した自分の学びに対する充実感や達成度が次の学びに向かう意欲等を高めるといふ、「振り返り」の有用性が示されている。

本単元においては、この「めあて」と「振り返り」を児童が立てた活動計画と活動のゴールに照らし合わせて行いながら単元の課題を解決していくことで、児童に学習を調整する力の育成を図る。

そこで、「ひとまとまりの活動」を設定する。「ひとまとまりの活動」とは、単元の追究する過程において、複数の単位時間に渡って、児童が試行錯誤を繰り返しながら課題解決に向かう活動である。この活動においては、課題解決された児童の姿を「活動のゴール」とする。児童は、この活動の中で学習の進め方を選択しながら、単位時間ごとに、活動計画と活動のゴールに照らし合わせてめあてを立て、活動し、振り返り、

その振り返りと活動計画を基にして次のめあてを立てていく。単位時間ごとのめあてを設定する活動を通して、児童は学習を調整していくことになる。これらの活動を繰り返すことで、児童に自らの学習を調整する力を育成していく。

## 5 単元の目標

### (1) 知識及び技能

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

〔(2)イ〕

### (2) 思考力、判断力、表現力等

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。

〔書くことイ〕

### (3) 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

## 6 単元の評価規準

### (1) 知識・技能

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。

〔(2)イ〕

### (2) 思考・判断・表現

「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。

〔書くことイ〕

### (3) 主体的に学習に取り組む態度

文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ったり、構成を工夫して書き表したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。

## 7 指導と評価の計画（全10時間）

過程	時	●ねらい ○学習活動 〔☆〕ICT活用	◎研究上の手立て ・指導上の留意点 ◇評価項目＜方法（観点）＞ 〔記〕記録に残す評価
つかむ	1	<p>●パンフレットの作り方を知り、「日本文化を発信するパンフレット」を作る活動に意欲をもつことができる。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p>	<p>・交流する相手を想起させることで、相手意識をもたせる。</p> <p>・単元の課題の確認： 単元の課題を提示し、パンフレットを作る学習の見通しをもたせる。</p> <p>・学習モデルの提示： パンフレットの実物を提示し、パンフレット作りの具体的なイメージをもたせる。</p>
		<p>〔単元の学習課題〕 友達に日本文化のよさが伝わるように、文章全体の構成を工夫して「日本文化を発信するパンフレット」を作ろう。</p> <p>○本時を振り返る。</p>	<p>・〔振り返りの視点〕を基に、単元の学習課題に沿って、本時の学習を振り返る。</p> <p>◇パンフレットの特徴を理解し、パンフレットを作る活動に意欲をもっている。 ＜発言・記述（態）＞</p>

		<p>[振り返りの視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあては達成できたか。</li> <li>・なぜ達成できたのか。 できなかったのか。</li> <li>・単元の課題に沿って学習できたか。</li> <li>・計画通りに進んでいるか。</li> <li>・次の時間は 「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どうやって」学習するのか。</li> </ul>	
	2	<p>●自分の伝えたいことをはっきりさせて、「日本文化を発信するパンフレット」を作る活動の学習過程を知ることができる。</p> <p>○どのようなテーマでパンフレットを作るか考え、学習計画を立てる。</p> <p>・<b>既習事項の掲示：</b> 既習事項をカードにして、常に提示しておく。</p> <p>・<b>学習モデルの提示：</b> パンフレットづくりに必要な活動を想起させる。</p> <p>・伝えたいことがはっきり分かるように、日本文化と日本文化のよさをイメージマップを使って整理させる。</p> <p>・<b>グループでの交流：</b> グループごとにパンフレットのテーマを決め、ページを分担させ、パンフレット完成までのおおまかな活動計画を考えさせる。</p> <p>（追究する過程での思考・判断・表現の評価につながる見取りをし、支援を行う。）</p>	
追究する	3	<p>◎単元の課題に沿ってパンフレット作りの活動（ひとまとまりの活動）計画を立て、友達と共有する活動を通して、パンフレットを完成させるまでの学習過程について見通しをもつことができる。</p> <p>児童がひとまとまりの活動の計画を立てる上で、以下の点に留意して指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>単元の課題の確認：</b> 単元で身に付ける力に向かうめあてを立てさせる。</li> <li>・<b>既習事項の掲示：</b> 黒板や教室の壁面に提示し、活動を選択しやすいようにする。</li> <li>・<b>学習モデルの提示：</b> パンフレット作りの過程を確認し、パンフレットづくりに必要な活動を想起させる。</li> <li>・<b>グループでの交流：</b> 質・量・方法（「何を、どのように、どのくらい、どのようにして」）が分かるように、説明させる。</li> <li>・<b>活動の共有：</b> 共有したことを基に、自分の計画を見直させる。</li> </ul> <p>◇パンフレットを完成させるまでの学習過程について、見通しをもっている。 ＜発言・記述（態）＞</p>	
	4・5	<p>◎ひとまとまりの活動 「伝えたいことが明確になるように構成した日本文化を発信するパンフレット作る活動」</p> <p>【学習の進め方の例】 割付をする、見出しを付ける、図や写真（資料）を選ぶ、記事を書く、取材する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</li> <li>●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。</li> <li>●単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもとうとしている。</li> </ul> <p>※学習活動例については、「8 第4時から第5時、第7時から第8時の展開」を参照。</p> <p>※指導上の留意点については、「8 第4時から第5時、第7時から第8時の展開」を参照。</p>	

			<p>◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。          &lt;記述・活動の様子（知）&gt; [記]</p> <p>◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。          &lt;記述・活動の様子（思）&gt; [記]</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。          &lt;記述（態）&gt;</p>
6	<p>●日本文化のよさが伝わるように、パンフレット全体の構成を見直すことができる。</p> <p>○グループで活動の進捗状況を共有し、パンフレット全体の構成を見直す。</p> <p>○見直した構成等を踏まえて、ひとまとまりの活動を進める。</p>	<p>・<b>単元の課題の確認：</b>          単元のつかむ過程で考えたパンフレットのテーマを確認し、全体の構成を見直させる。</p> <p>・<b>グループでの交流：</b>          できたページをグループ内で読み合い、お互いの進捗を確認する。</p> <p>・<b>活動の共有：</b>          解説文や見出し、ページの構成などについて、グループで見直した部分を、書き直す。</p> <p>（追究する過程での思考・判断・表現の評価につながる見取りをし、支援を行う。）</p>	
7 ・ 8	<p>◎ひとまとまりの活動</p> <p>「伝えたいことが明確になるように構成した日本文化を発信するパンフレットを作る活動」</p> <p>【学習の進め方の例】</p> <p>割付をする、見出しを付ける、図や写真（資料）を選ぶ、記事を書く、取材する</p> <p>●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。</p> <p>●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。</p> <p>●単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもとうとしている。</p>	<p>※学習活動例については、「8 第4時から第5時、第7時から第8時の展開」を参照。</p> <p>※指導上の留意点については、「8 第4時から第5時、第7時から第8時の展開」を参照。</p> <p>◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。          &lt;記述・活動の様子（知）&gt; [記]</p> <p>◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。          &lt;記述・活動の様子（思）&gt; [記]</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。          &lt;記述（態）&gt;</p>	
9	<p>●単元の課題に沿って、伝えたいことがはっきりと伝わるように、「日本文化を発信するパンフレット」を推敲することができる。</p> <p>○解説文を推敲し、パンフレットを仕上げる。</p>	<p>・<b>グループでの交流：</b>          各自が完成させたページを合わせ、パンフレット全体の構成と、ページの構成、解説文の書き方を確認させる。</p> <p>◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。          &lt;記述・活動の様子（思）&gt; [記]</p>	
ま と め る	10	<p>●完成した「パンフレット」のよいところを見付け、単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返ることができる。</p> <p>○完成したパンフレットを読み合い、感想を伝え合う。</p>	<p>・他のグループのパンフレットを読み合い、パンフレットのよかったところなどを付箋に記入させ、交流させる。</p>

	○単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返る。	・単元の課題を確認し、単元全体を振り返らせ、本単元で身に付けた力や、次の学習や日常生活に生かしたいことなどを振り返らせる。  ◇パンフレット作りを通して身に付いた力を確認し、次に生かしたいことを振り返っている。 ＜記述（態）＞
--	--	--

## 8 第4時から第5時、第7時から第8時の展開

### ひとまとまりの活動

「伝えたいことが明確になるように、文章全体の構成を工夫したパンフレットを作る活動」

### 【学習の進め方の例】

割付をする、見出しを付ける、図や写真（資料）を選ぶ、記事を書く、取材する

#### (1) ねらい

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
- ・進んで相手や目的を意識して題材を選び、構成を考え、パンフレットを完成させるまでの活動に見通しをもってパンフレットを作ろうとする。

#### (2) 準備

タブレットPC

#### (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応 [☆] ICT活用	◎【研究上の手立て】 ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてを立てる。 [☆] ○前時の振り返りを基に、本時のめあてを立てる。 ・□□について、図書館の本で調べる。 ・伝えたいことが、はっきりと分かるような見出しを作る。 ・一番伝えたいことが分かるように、解説文の構成を考える。 ・パンフレット全体から自分の解説文を見直し、解説文を書く。 ・自分の伝えたいことが分かるように、段落に気を付けて「○○」と「△△」の解説文を書く。	◎【学習の進め方の選択】 活動のゴールにおける自分の姿をイメージしながら、活動計画と前時の振り返りを基にしてめあてを立てさせる。 ○単元の課題の確認： 単元で身に付ける力に向かうめあてを立てさせる。 ○立てためあてによっては、活動計画を修正してもよいこととする。 ●活動の共有： プレゼンテーションソフトを用いて、めあてを友達と共有できるようにし、いつでも自分の計画の参考にできるようにする。 ◇進んで相手や目的を意識して書くことを選び、構成を考え、パンフレットを完成させるまでの活動に見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。 ＜発言・記述（態）＞
展開 15分	2 自分が選択した活動を進める。 [☆]	◎【ひとまとまりの活動】 児童が選択した活動を、各自で進めさせる。 ○活動の共有： パンフレットは、プレゼンテーションソフトを用いて作成させ、いつでも友達の活動の様子が見られるようにする。

【ひとまとまりの活動】	
学習活動例	<p>○指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価</p>
<p>①取材する。</p> <p>②割り付けを考える。</p> <p>③解説文を書く。</p> <p>④解説文に見出しやリード文を付ける。</p> <p>⑤写真や図、表などを考える。</p> <p>※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。 ※①～⑤は順序を表すものではない。</p>	<p>①自分が知りたいことが分かるような方法で、取材させる。 ①資料を調べる際は、インターネットだけではなく、学校図書館も活用させる。 ①資料の出典は、必ずパンフレットに記載させる。</p> <p>②最も大きく取り上げたいものは何か、取材した内容を分かりやすく伝えるために必要な大きさはどの程度かなどから、解説文の大きさや図・写真の場所を考えさせる。</p> <p>③「伝えたいことを最初に書く」「事実を書く」などのパンフレットの解説文の書き方の特徴を意識させて、解説文を書かせる。</p> <p>④伝えたい内容に合った見出しやリード文を付けさせる。</p> <p>⑤何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考えさせる。また写真や図などにはキャプションも付けさせる。</p> <p>○試行錯誤しながら考えを練り上げるなどの作業を効率的に行えるように、パンフレットはタブレットPCを使って作成させる。</p> <p>●活動の様子を共有して、児童同士で活動の進み方を見合ったり、全体で進め方や進捗を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。</p> <p>◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ＜記述・活動の様子（知）＞〔記〕 ◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕 ※児童の学習の進め方に沿って、評価する。</p>
展開 5分	<p>3 活動状況を全体で共有する。 ○グループで活動の進捗状況を共有し、パンフレット全体の構成を見直す。</p> <p>○見直した構成等を踏まえて、ひとまとまりの活動を進める。</p> <p>○グループでの交流： 友達のページと自分のページを比べ、パンフレット全体の構成を考えながら、文章や見出しなどを見直させる。 ○お互いに気付いたことを伝えさせる。その際はパンフレット全体の書き振りと合っているかという視点をもたせる。</p>
展開 10分	<p>4 自分が選択した活動を進める。〔☆〕 ○見直した構成等を踏まえて、ひとまとまりの活動を進める。</p> <p>※展開前半と同様</p>
まとめ 10分	<p>5 本時の学習を振り返る。〔☆〕 ○振り返りの視点に沿って、本時の学習を振り返る。 ・□□について、図書館の本で調べられたから、次回は写真に合った解説文を書こう。 ・解説文に合った見出しを作れた。 ・伝えたいことが最初に来るように、解説文が書けた。 ・友達の書いた解説文を読んで、自分の解説文を書き直せた。 ・グループのパンフレットに合わせて、解説文を書き直せた。</p> <p>○振り返りを共有する。 ○本時の振り返りを基に、活動計画を見直す。</p> <p>◎【自分の進捗を可視化した振り返り】 振り返りの視点に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。 ○活動の共有： 振り返りはプレゼンテーションソフトを用いて行い、お互いに振り返りの様子が見られるようにする。</p> <p>●活動の共有： 友達の振り返りや見直された計画から、自分の活動を見直させる。</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜ワークシート（態）〔記〕＞</p>